

# 持続的発展の実現のため、 当グループにおけるマテリアリティの特定

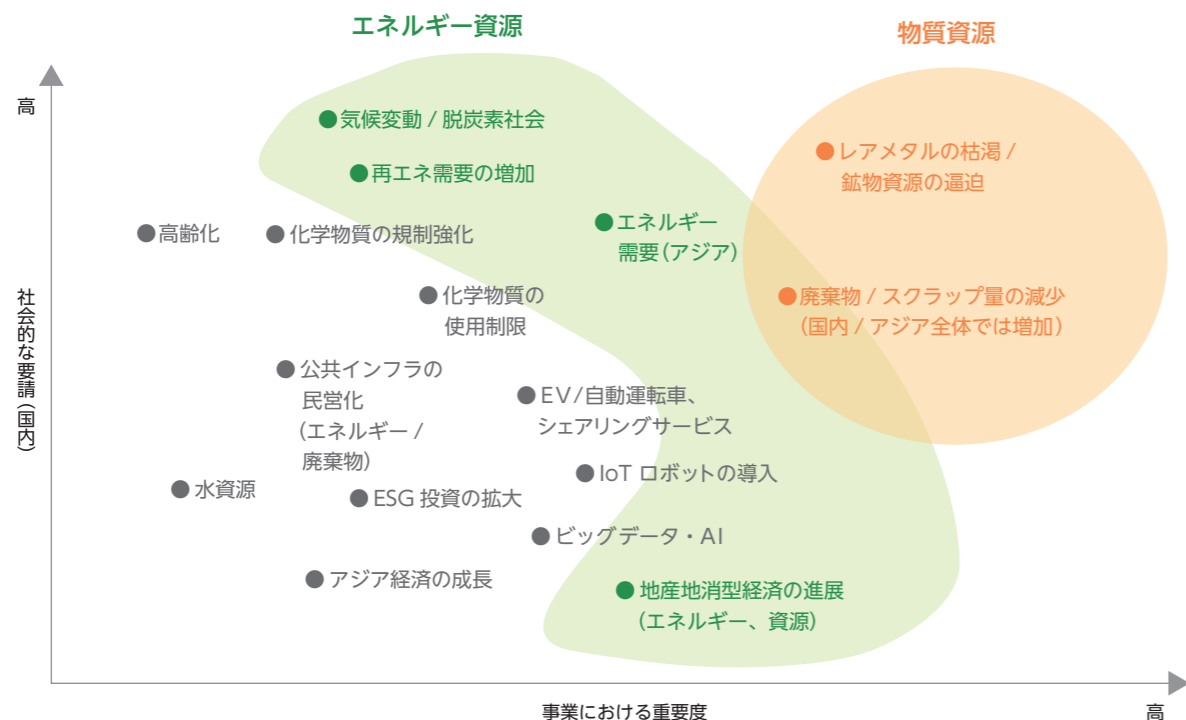
## マテリアリティ特定プロセス

世界の潮流を受け、社会と当グループの持続的発展を同時に実現させるため、当グループの事業活動と社会課題の関連性を改めて整理し、当グループにおけるマテリアリティを特定しました。

- Step 1 社会・環境における課題の抽出**  
日本国内において、社会・環境課題とされる項目の抽出を行いました。
- Step 2 当グループの強みや事業活動との関連性を踏まえた課題の評価**  
当グループのサステナビリティ委員会にて、「社会からの要請」「当グループ事業における重要度(影響範囲および本業を通じて取り組むことができるか)」という2軸で各課題を評価し、マテリアリティマップとして整理しました。
- Step 3 マテリアリティの特定**  
整理した項目から特に重要と評価した「物質資源」と「エネルギー資源\*」の2項目をマテリアリティとして特定し、取締役会において承認されました。  
※主に、再生可能エネルギー利用の推進を意図しています。

これらのマテリアリティに対する取り組みを推進するため、各社における中期/年次目標の設定を進めてまいります。

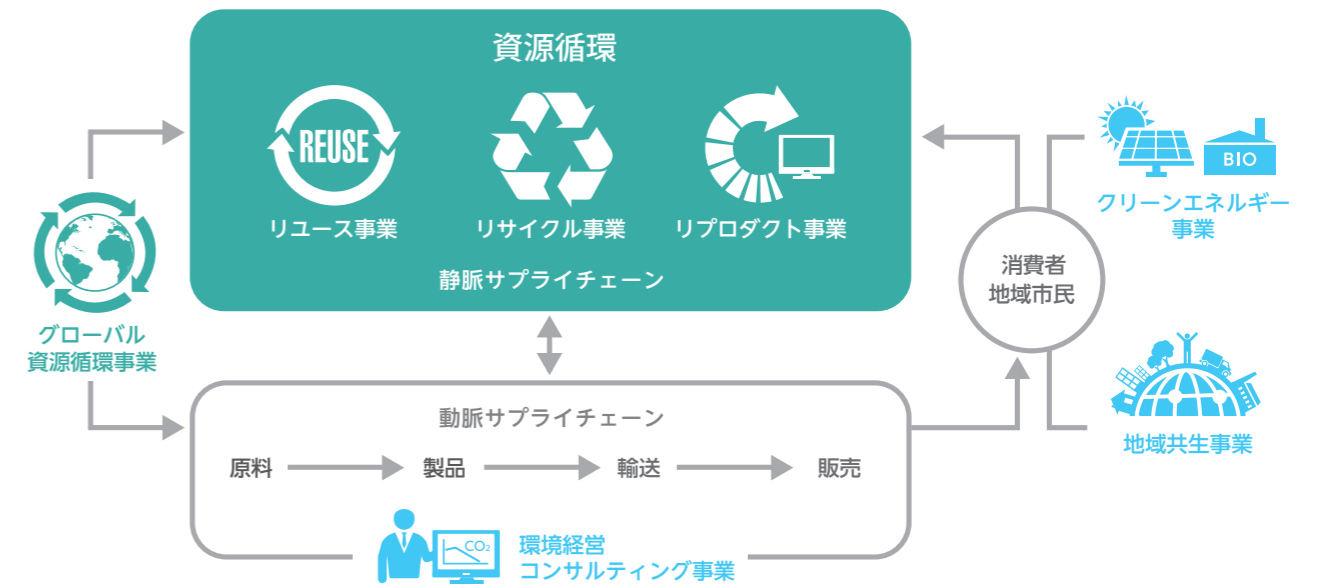
### マテリアリティ分析マップ



# 資源循環・グローバル資源循環事業における 全体戦略と各社事業計画を整合

資源循環事業・グローバル資源循環事業における、グループ各社の機能・役割を明確にし、全体戦略と各社事業計画を整合させることで、グループ全体の経営目標(KGI)の達成を目指していきます。

### 事業領域とセグメントの体系



カテゴリ	サービス詳細
リサイクル事業(再資源化)	・金属スクラップの再資源化 ・焼却灰からの貴金属回収 ・金属複合物の再資源化 ・固形燃料の製造 ・処理困難物の対応 ・産業廃棄物の再資源化 ・海外の資源循環サポート
リプロダクト事業(再生原料製造)	・廃プラスチックからの再生原料化 ・ゴムチップの製造販売 ・2次電池からのレアメタル再生原料化
リユース事業(再利用)	・中古自動車、部品の国際流通 ・太陽光パネルのリユース
グローバル資源循環事業	・金属スクラップの国際流通 ・廃プラスチック等の国際流通 ・バイオマス燃料の国際流通 ・製紙原料の国際流通 ・国際物流サービス
クリーン エネルギー事業	・再生可能エネルギーの発電事業
環境経営コンサルティング事業	・環境経営コンサルティング事業
地域共生事業	・快適ライフサポート(もったいないBOX、かたづけ隊) ・障がい者福祉事業(障がい者就労移行支援事業、障がい者就労継続支援事業)